

くにさき公民館だより

～つどう・まなぶ・むすぶ～ 国東地域の公民館活動

「健康まあじゃん教室」始めました！！

— 富来地区公民館 —

「賭けない（賭博）」「飲まない（アルコール）」「吸わない（たばこ）」をルールとして、「健康麻雀教室」を始めました。

講師陣は経験のある地域住民が担い、全くの素人でも教えてもらいながら楽しめる企画となっています。

この教室で特に目を引くのが女性の方々の参加が多いこと。「全くやったことなかったけど、やってみたら面白くて…」「わかりやすく教えてもらえるから楽しい」「頭使うよね～」「おしゃべりしながらあっという間に時間が過ぎるの」などなど。

牌を積んだり並べ替えたりは手先を使い、この配牌をどうやってあがりに持っていくかと脳が回転し、そして卓を囲んでみんなとおしゃべりすることでコミュニケーションが図られるなど、認知症予防にもつながっています。



徳渓大学 社会探訪 — 来浦地区公民館 —

11月21日、来浦地区公民館徳渓大学受講生による社会探訪を実施。

本年度は県南方面へ。

おそらく国東市から最も遠いのではないかと思われる鶴見崎灯台。曲がりくねった道をどうにかクリアし、九州最東端まで到達。

天気は快晴で豊後水道を望む景色は抜群。

帰りには到達の証である「証明書」を持ち帰りました。

ぜったい誰かが「豊後“鶴見崎”男のみいなあとおお～」と歌ったはず。

次に「麹の杜」工場見学。発酵食品の力を学ぶとともに、健康についても考える時間となりました。



郷和大学運営委員、区長による社会探訪
— 国東地区公民館 —



R7 軽スポーツ大会
— 上国崎地区公民館 —

10月19日、上国崎の住民の融和と交流を目的に、「軽スポーツ大会」が開催されました。地区対抗戦ということもあり、参加人数約70名といつも以上の人数に会場はあふれんばかりの熱気に包まれました。

種目は気軽に参加できるようにと、“ポケットボール”や“ピンボーリング” “輪投げ”など。

高齢者も若者も年齢制限なし、ハンデキャップなしで、一打、一投ごとに歓声があがっていました。



10月22日、話題のホーバークラフト乗船体験と大分南部公民館との情報交換会を目的に行われました。

前日からの荒天のため、残念ながら乗船はかなわなかったものの、西大分のホーバーターミナル内において、大分第一ホーバードライブ株式会社の担当社員による基本的な説明を受けることができました。なかなかゆっくり見ることのない基地内と船内はワクワクが詰まっていました。

午後は大分南部公民館館長との情報交換を実施。お互いの公民館活動の今後についての意見交換が行われました。

豊泉大学 社会探訪
— 豊崎地区公民館 —

11月26日、県南へ国宝臼杵石仏を皮切りに、臼杵歴史資料館にて研修。

約35,000点の歴史資料を所蔵しており、大友宗麟や、初代臼杵藩主の父である稻葉一鉄に関する資料、さらに世界までを描いた古地図など、極めて珍しいものを見学できました。

相続登記講演会
～相続登記の申請義務化ってな～に？
— 旭日地区公民館 —

9月22日、大分地方法務局杵築市局より講師に赤峰康弘氏を招いて、相続登記の義務化に関する学習会を開催いたしました。

相続に関する基本的な考え方から手続きの方法まで、とてもわかりやすい講演会になったのではないでしょうか。

参加者からは、億劫になりがちな手続きについての質問が多く飛び交い、講演会実施の意義があったのではないかと思います。

今後は簡単なものについては、お金をかけずに個人個人にて相続手続きができるのではないかと期待しています。



令和7年度 第76回 大分県公民館研究大会

令和7年10月29日、大分県竹田市で開催された本大会には、県内各地から多くの公民館関係者が一堂に集い、第1分科会「地域づくり」、第2分科会「教育の協働」、第3分科会「人権教育の推進」と3つのテーマに分かれ、それぞれのテーマに沿って議論を交わし理解を深めていきました。国東市は第3分科会の発表者、助言者として「障がい者の学びを支援する公民館事業を通じての人権教育」を発表、さまざまな意見の交換が行われました。



県公連
各種表彰

勤続職員表彰

朝来地区公民館 前公民館主事 稲田春洋